

モデル業務の選定について（案）

1 趣 旨

第1回総会における合意に基づき、「連携検討業務一覧」(平成25年10月17日現在)の中から、連携の必要性や方向性を勘案し、今年度は以下の2つの業務について、作業部会を立ち上げ、具体の連携方策の検討を進めたい。

2 選定理由

(1) 電算システムの共同化

- ・電算システムは、これまで、各市町村ごとに調達・運用されてきたが、電算システムを介して住民に提供するサービスは、各市町村で重なる部分も多くなっており、電算システムの共同化により、調達・運用コストの低減等が期待されることから、今後導入される社会保障・税番号制度に伴う電算システムの改修にも着手する時期に来ていることから、早急に検討する必要がある。

(2) 道路・橋梁の維持管理

- ・道路・橋梁の老朽化対策は全国的にも大きな問題となっているが、県内市町村の中には、行財政改革による職員削減により、必要な技術職員の確保や技術の承継に支障をきたしている団体も見受けられるところであり、道路・橋梁の安全を確保し、住環境を守るためには、早急に対応を検討する必要がある。